

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7	スポーツ普及事業の 開催	平塚市スポーツ協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議 会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツ フェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活 動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる 健康・体力づくりを推進するための機会を 提供することで、健康で明るいまちづく りに寄与するため、総合公園全施設を利用 してスポーツ体験教室等を実施します。	35スポーツ教室を実施 参加者 14,471人 内訳 教室等参加者 11,520人、スタッフ 821人 野外ステージ関係者 2,130人	天候にも恵まれ、過去最高の来場 者を記録した。スポーツ・レクリエー ション活動への参加意欲を喚起し、 健康・体力づくりを推進するための 機会を提供することができた。	継続	市民のスポーツ・レクリエーション活動への 参加意欲喚起や、健康・体力づくり推進の 機会提供に有益なため、今後も継続しま す。
2	ビーチスポーツ普及 事業の開催	みどり公園・水辺課	ビーチスポーツ普及事 業の開催	青少年の健全育成とビーチスポーツの普 及、新たな海岸利用を提案するため、各 種ビーチスポーツ体験会を実施します。	ビーチサッカースクールを月2回程度、ラウンドボール・フ レスコボール体験会を月1回程度しました。また、ストリー トバスケットで人気のあるSOMECITYを年6回実施しまし た。	ビーチサッカーやラウンドボール・フ レスコボール体験会を通常通り開催 でき、また、昨年度好評だった SOMECITYを今年度も実施し、ビー チパークの新たな魅力として定着し ました。	継続	相模沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠 点として、指定管理者と連携し、引き続き 多くの利用者の方にビーチスポーツに親し んでいただくための機会の提供に努めま す。
3	運動体験教室	健康課	運動体験教室	生活習慣病やその予備群であるメタボ リックシンドロームを予防するため、適切 な運動や食生活について講義及び実技 等を実施する。	肥満予防・改善教室 ①すっきりボディを手に入れたいあなたへ 全 10回開催 ②すきま時間でちょいトレ 全 7回開催	運動を継続するきっかけにつながっ た。	継続	対象年齢の変更に伴い参加者数が減少し たが、内容や講師、実施日程、周知方法を 検討しつつ同様に継続。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するための 事業や活動を実施する。	令和6年度から地域健康づくり支援事業と統合して報告		統合	
5	健康推進員養成講 座	健康課	健康推進員養成講座	市民が健康づくりの重要性を理解し、自 主的に活動するために必要な知識・技術 を学習する。	全8回の養成講座に15人参加	健康推進員として運動を地域に広 げる活動を推進する役割を担うもの が養成された。	継続	養成講座に参加後、実際の活動が時間等 の都合でできない方がいるが、講座を通じ て体を動かすことの大切さは伝えられてい るため、今後も同様に継続。
6	健康推進員育成講 座	健康課	健康推進員スキルアッ プ！講座	健康推進員が地域において健康づくり活 動のリーダー的な役割を担い、地域にお いて活動を推進することを目的とする。	現在活動している健康推進員に対し育成講座を実施 全 3回 延べ51人参加	健康推進員として運動を地域に広 げる活動ですでに実施しているもの が、活動の維持・継続するための技術 を身に付けることができた。	継続	育成講座に参加し、健康推進員活動を継 続するための技術や知識の提供等に有用 であるため、今後も同様に継続。
7	日常的運動習慣へ の啓発事業の開催	スポーツ課	ウォーキングイベント	多くの市民が参加しやすいスポーツイベ ントを提供するために、「楽しむこと」を重 要視して、結果的に「スポーツをすること」 に繋がるウォーキングイベントを検討しま す。	ひらつかスポーツナビを活用し、ウォーキングの啓発のた め新ウォーキングマップのページを掲載している。	ウォーキングしたい方が気軽にウ ォーキングマップにアクセスできるよ うにした。	継続	ウォーキングイベントを開催するよりひらつ かスポーツナビを通じてウォーキングでき るマップを周知することを継続する。
8	地域健康づくり支援 事業	健康課	地域健康づくり支援事 業	市民団体及びグループ等からの依頼に応 じて、健康教育・健康相談等を実施し、健 康づくりの知識・技術の向上を図る。	生活習慣病予防のための地域での運動教室や健康づく りの推進のための集団教育を実施 18回開催	65歳以上の対象のグループから、 働く世代を対象とした集団教育や健 康相談を実施した。	継続	依頼での健康教育が中心となるが、一定 数のニーズもあり、かつ働く世代への働き かけも始めたため、今後も継続する。
9	公民館における自主 事業等	中央公民館	公民館における自主事 業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供する ため、公民館主催の児童・生徒地域参加 事業、家庭教育学級、シニア学級、自主 事業等を実施します。	合計 63事業 延べ2,738人 (内訳) 児童・生徒地域参加事業 9事業 延べ 443人 家庭教育学級 10事業 延べ 317人 シニア学級 22事業 延べ 518人 自主事業 20事業 延べ1401人 ブロック事業 2事業 延べ 59人	ボッチャやモルックといったニュース スポーツ、バスケットボールやグラウ ンドゴルフなど幅広い種目を実施し た。	継続	日時や対象を検討して継続する。
10	市民総合体育大会・ 各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各 種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポー ツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて 健康明らかな心身の育成を図るとともに、 住民相互の親睦を図るため、地区体育振 興会単位での対抗戦形式での市民総合体 育大会や各種スポーツ大会を開催しま す。	第72回市民総合体育大会(3,036名) トリムバレーボール大会(19チーム) 市内駅伝競走大会(地区対抗の部 18チーム 実業団の部 8チーム)	市民が参加するスポーツをする機 会ができた。	継続	スポーツをする機会の提供として継続す る。 なお、現状の状況にあった大会のあり方につ いて検討する。
11	市民体育レクリエー ション地区大会	中央公民館	市民体育レクリエーシ ョン地区大会	地域住民相互の親善と交流を深め、明る い地域づくりの推進を図るとともに、ス ポーツ、レクリエーション活動の向上と健 康の増進を図るため、各地区で市民体育 レクリエーション地区大会を実施します。	合計23会場 延べ13,700人 (中止 3会場)	雨天のため3会場で中止となった。 実施した23会場では、幼児から高齢 者まで幅広い世代が参加可能な競 技種目を設定した。	継続	地域の自治会や体育振興会と協力し、開 催内容(競技種目等)を検討して継続す る。
12	スポーツ教室・健康 講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室 (子どもを対象としたス ポーツ教室を除く。)	市民が生涯にわたりスポーツに親しむた めに、スポーツ教室を開催し、健康増進 への機会の提供及びスポーツに対する参 加意識を高める。	35スポーツ教室を実施 参加者7,448人	定員数をコロナ前にほぼ戻したこと により、参加者数が増加した。健康 増進への機会を提供することができ た。	継続	市民がスポーツに親しみ、健康増進への 機会を提供するために、今後も継続する。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
13	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテインメントグループの「HANDSIGN」と連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	・手話ダンスグループ「HAND SIGN」による公演 年1回 ・日時: 令和6年12月3日 ・場所: 勝原小学校体育館 ・対象: 全校生徒(410人)	HANDSIGNによる公演を小学校等で実施して、ダンスや手話に興味を持っていただく機会となった。	継続	小学校等での公演を通して、手話やダンスに興味を持ってもらえる機会を提供し、手話ダンスの普及啓発を図る。
14	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	スポーツボランティア活動事業	スポーツボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	市主催のスポーツイベントにおいて東海大学の学生を中心にボランティアにイベントの運営補助を実施した。	東海大学の学生を中心に市主催のスポーツイベントでボランティア活動ができた。	継続	今後も東海大学の学生を中心にスポーツイベントに関するボランティア活動依頼を継続する。
15	ミニミニ運動会	保育課	ミニミニ運動会	子育て中の親子が楽しめるふれあいの場を提供するため実施している。親子で一緒にできる運動や自然物を使っての制作を楽しんでいる。	計画した全4回人数制限を緩和して実施した。各地域で20組の募集をし、61組の申し込みがあり合計130名の参加となった。天候や体調等で外に出られない親子に好評な「おうちでミニミニ運動会」の動画配信は継続した。	人数制限を緩和して受け入れ組数を増やし内容を工夫して実施。手遊び、エプロンシアター、ふれあい遊び等の動画配信は猛暑で外に出られない親子にも好評であった。	廃止	現場の保育の充実に向けて様々な行事の見直しが必要となっているため、本事業については廃止とした。
16	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	親子であそぼうフェスティバル	未就学児の子どもとその保護者を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、親子と一緒に体操やふれあい遊びを行うイベントを実施。	「親子であそぼうフェスティバル」を10月19日に開催。2部制、各部100組の定員を設け開催した。申込は定員まで運したが、キャンセルがあり、結果的に157組(大人259人、子ども215人)が参加した。	2部制で定員を設け開催したこと、子どもの集中力が切れることなく、広いスペースで遊ぶことができ好評で、来年も参加したいという声が多く聞かれた。神奈川大学と東海大学の学生にも参加いただき、子どもと接することができ良い経験になったと感想をいただいた。	継続	コロナ前の親子であそぼうフェスティバルでは、300～400名が参加した実績があり、ニーズの高いイベントだと考えられる。一方、保育士の業務負担が大きいことが課題であるため、講師を外部委託することで業務負担を軽減しながら、親子が楽しめるイベントを引き続き実施していく予定である。
17	計画訪問	教育指導課	幼稚園・こども園・小中学校訪問	授業研究を通して、教育指導のあり方や実施上の諸課題などについて研究協議し、指導力の向上に努める。	中学校で行われた球技: ネット型(バドミントン)の授業に、市内15校の中学校より15名の保健体育科教員が参加した。また、市内の小中学校1校で器械運動系(跳び箱運動)の授業研究を行った。	研究協議を深めることができ、指導力の向上を図ることができた。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続していく。
18	中学校部活動の在り方研究協議会	教育指導課	中学校部活動の在り方に関する事業	生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点と学校の働き方改革の観点から、持続可能な部活動の在り方について研究の実践を行い、部活動の諸課題解決に努める。	令和6年度は今後の部活動のあり方として、「部活動の地域移行」について検討した。	今後の部活動のあり方や部活動地域移行について、多岐にわたる課題を把握し、今後の検討資料とすることができた。	継続	生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点と学校の働き方改革の観点から、持続可能な部活動の在り方や部活動地域移行に係る諸課題解決のために今後も継続していく。
19	中学校部活動指導者派遣事業	教育指導課	中学校部活動の在り方に関する事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じて専門的資質を有する地域指導者を、運動部及び文化部顧問の指導協力者として派遣する。また、休日に顧問教諭不在でも校内で部活動指導を行うことができる「部活動特別地域指導者」を配置し、中学校における教員の働き方改革の推進、生徒の活動を保障する。あわせて地域指導者に対して講心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東中学校体育大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生に派遣交付金を交付し活動を支援する。	地域指導者派遣期間は令和6年4月1日から令和6年2月28日。延べ102人の地域指導者が総計4,852単位時間活動した。特別地域指導者は10名、総計35時間活動した。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時間の確保ができない顧問、専門的な指導が難しい顧問がいる中、生徒の意識の向上、より高い技術指導の提供等の面で、大変有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供のために、今後も継続していく。
20	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東中学校体育大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生に派遣交付金を交付し活動を支援する。	令和6年度は運動部では全国大会へ個人3人、関東大会へ団体1種目(8人)、個人9人が出場した。地域スポーツ団体では全国大会へ個人4人、関東大会へ団体2種目(6人)、個人9人(団体と2名重複)が出場した。文化の部では、全国大会へ個人7人、関東大会へ1団体(18人)、個人11人が出場し派遣交付金を支給した。	関東・全国大会等の参加時支度金として活用された。	継続	派遣交付金の支給を継続していく。
21	中学校部活動指導員配置促進事業	教育指導課	中学校部活動の在り方に関する事業	中学校における部活動指導員を配置し、部活動体制の充実及び部活動を担当する教員の支援を図る。あわせて部活動指導員に対して研修を行う。	部活動指導員派遣期間は令和6年4月1日から令和6年3月31日。3名の部活動指導員の配置ができた。	年間を通して部活動指導体制の充実につながり、担当教員の支援をすることができた。	継続	部活動体制の充実及び部活動を担当する教員の支援を図るため、今後も継続していく。
22	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	少年少女スポーツ大会	スポーツを通じて青少年の健全育成を図り、授業以外での運動習慣をつける機会を提供するため、野球、水泳、剣道、マラソン大会を実施します。	(1) 少年野球大会 7月19日～8月4日 462人 (2) 少年少女水泳大会 7月28日 129人(小学生91人、中学生38人) (3) 少年少女剣道大会 10月6日 161人 (4) 少年少女マラソン大会 3月1日 151人	各種スポーツ大会をとおして、心身の健全育成に寄与するとともに子どもたちにスポーツをする機会の提供ができた。	継続	スポーツをするきっかけづくりや、日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
23	小学校プール開放事業	スポーツ課	小学校プール開放事業	児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。	令和6年度利用者実績: 8,950人	夏季休業中の市内26校の小学校プールを開放した。	継続	今後も継続していく方向だが、老朽化のため使用できないプールが増えており、プール開放のあり方も同時に検討する。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
24	市民総合体育大会・ 各種スポーツ大会 (再掲)	スポーツ課	市民総合体育大会・各 種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明らかな心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第72回市民総合体育大会(3,036名) トリムバレーボール大会(19チーム) 市内駅伝競走大会(地区対抗の部 18チーム 実業団の部 8チーム)	市民が参加するスポーツをする機会ができた。	継続	スポーツをする機会の提供として継続する。 なお、現状の状況にあった大会のあり方について検討する。
25	スポーツ教室・健康 講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室 (子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	市民が生涯にわたリスポーツに親しむために、スポーツ教室を開催し、健康増進への機会の提供及びスポーツに対する参加意識を高める。	2スポーツ教室を実施 参加者計 158人 内訳 ①テニスクール(ジュニアコース):4クール 44回 計 121人 ②ふれあい子ども相撲:37人 芸術文化振興事業とのジョイント事業 幼児対象の訪問コンサートに合わせ、リズム体操教室を7園で実施	子どもたちにスポーツを楽しむ機会を提供することができた。	継続	子どもたちにスポーツを楽しむ機会を提供するために、今後も継続する。
26	フレイル対策推進事業	保険年金課	フレイルチェック測定会	高齢者の身体状態を把握し、介護予防のための運動へのきっかけづくりとなる「フレイルチェック」を実施します。	フレイチェック測定会 39回実施 参加者延べ581人	「気づく」ためのフレイルチェック測定会は目標人数を上回る581人が参加した。高齢者のフレイル予防を図ることができた。	継続	高齢者のフレイル・オーラルフレイルを予防するため、自宅から歩いて行ける距離でフレイルに「気づく」機会を継続する必要がある。また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に基づき、後期高齢者健診とフレイルチェックを一体的に実施し、フレイルへの気づきと行動変容を促す仕組みの継続や、フレイルハイレスク者への支援体制を継続する必要がある。
27	地域介護予防活動 支援事業	地域包括ケア推進課	通いの場サロンの支援	地域で住民主体に運動等の介護予防活動を開催する高齢者の通いの場(サロン)や新規に開催を希望する通いの場(サロン)への支援を行います。	団体 175団体 開催回数 17509回(延べ) 参加人数 177927人(延べ)	団体数、開催回数、参加人数ともに増加した。	継続	新規に通いの場を希望する団体には通いの場事業の趣旨説明を、窓口及び電話対応で行う。 既存の団体には必要に応じて補助対象の見直し等を行うほか、スマートフォン講座を通して、通いの場の高齢者同士のつながりを支援していく。
28	ゆめクラブ湘南平塚 スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	高齢者が安全にスポーツに親み、健康で充実した生活が送れるようゲートボール競争等気軽に楽しめる種目のあるスポーツ大会を実施します。	老人クラブ連合会との共催により、10月25日に総合体育館を会場として第52回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会を開催しました。当日は、ゲートボール競争や輪っか競争など全10種目の競技や踊りを実施し、約700名の参加がありました。	高齢者が安全に楽しめる競技や健康体操を種目として取り入れることにより、多くの参加者を得ることができ、高齢者の健康づくりにつなげることができました。	継続	会員の高齢化が進む中、安心して大会に参加できる環境を整えることで引き続き多くの参加者が得られるよう、関係者の意見を聞きながら大会の進行や競技内容を老人クラブ連合会とともに検討していきます。
29	ゆめクラブ湘南平塚 グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通して友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	5月27日に馬入ふれあい公園サッカーコートを利用してグラウンドゴルフ大会を開催し、15地区22チームが参加しました。また、成績上位であった4チームについては、湘南ブロック老連が実施した交流大会に出場しました。	高齢者同士の交流や運動する機会を提供することができました。	継続	老人クラブとして健康増進や文化活動など年間を通じて様々な行事を実施しており、高齢者の生活課題やニーズを踏まえながら優先順位を付けて計画的に取り組んでいく必要があります。
30	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がいスポーツ大会への参加を支援します。	(1)フライングディスク:R6.4.21 9名 (2)陸上(身体):R6.4.14 8名 (3)ボウリング:R6.4.28 1名 (4)アーチェリー:R6.4.28 1名 (5)陸上(知的):R6.5.12 4名 (6)水泳:R6.7.7 4名 (7)卓球(精神):R7.1.17 8名 (8)卓球・STT:R7.1.19 4名 (9)ボッチャ:R7.2.16 3名	各種スポーツ大会への参加を支援し、スポーツを通じて障がい者の社会参加の促進を図ることができた。	継続	スポーツを通じた、障がい者の余暇活動の充実を図ることで、より多くの社会参加の機会提供が進み、本人の生活力向上や健康維持に繋がるため継続して行う。
31 32	ひらつかバラスポーツ フェスタ開催事業	スポーツ課	ひらつかバラスポーツ フェスタ開催事業	バラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、バラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとするために開催する。	イベント参加者519名	誰でも参加できるイベントができた。	継続	バラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、バラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとするために有効な事業のため、引き続き継続していく。
33	デジタル技術を活用した スポーツの啓発	スポーツ課	デジタル技術を活用した スポーツの啓発	各種スポーツイベントやスポーツ情報を周知します。また、スポーツの新しい楽しみ方や健康増進の取り組みについてイベント等を通じて紹介します。	第7回ひらつかバラスポーツフェスタにおいて、e スポーツの体験コーナーを設けました。イベント参加者519名	e スポーツの体験できるイベントができた。	継続	e スポーツの体験できる機会を引き続き継続していく。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
34	ひらつかバラスポーツフェスタ開催事業	スポーツ課	ひらつかバラスポーツフェスタ開催事業(再掲)	バラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、バラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとするために開催する。	イベント参加者519名	誰でも参加できるイベントができた。	継続	バラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、バラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすために有効な事業のため、引き続き継続していく。
35	バラスポーツ・ニューススポーツの啓発	スポーツ課	バラスポーツ・ニューススポーツの啓発	バラスポーツやニューススポーツなどの用具を多様な主体へ貸出するとともに、必要に応じて貸出用具の競技ルールの説明の支援を行います。	180件の貸出を実施した。	ポッチャ、バウンドテニス、ストラックアウトなど、約40種類のバラスポーツやニューススポーツを中心とする用具の貸出を行い、市民のスポーツ活動を側面から支えている。	継続	持ち運びの際リスクのあるスポーツ用具もあるため、貸出用具を精査して事業を継続していく。
36	ポッチャ競技大会等のバラスポーツ大会の充実	スポーツ課	ポッチャ競技大会等のバラスポーツ大会の充実	パラリンピック独自の競技でもあり、バラスポーツの中でも人気の高いポッチャ競技の大会の充実とともに、誰もが楽しめるニューススポーツを楽しむ取り組みを推進します。	大会参加者93名	誰でも参加できるイベントができた。	継続	障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすために有効な事業のため、引き続き継続していく。
37-1	地区体育振興事業	平塚市体育振興連絡協議会	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	雨天中止となる事業もありましたが、地区体育振興会において114事業(参加者7,100名以上)を実施しました。	市民がスポーツに触れ合う機会や地域の交流に寄与することができた。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るためには、当団体へ委託し事業を継続することが適当であるため。
37-2	地域のスポーツ活動委託事業	スポーツ課	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	雨天中止となる事業もありましたが、地区体育振興会において114事業(参加者7,100名以上)を実施しました。	市民がスポーツに触れ合う機会や地域の交流に寄与することができた。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るためには、当団体へ委託し事業を継続することが適当であるため。
38	スポーツ普及員の認定	スポーツ課	スポーツ普及員の認定	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	スポーツ普及員制度の検討は行っていない。	本市の特性として、地域におけるスポーツの普及振興は地区体育振興会やスポーツ推進委員に担っていただいており、スポーツ普及員認定制度の趣旨から、当該制度の導入による効果は低いものと判断する。	終了	同制度と類似する制度として、「平塚市スポーツ指導者制度」があるが、機能していない状況の中、新たに制度を作る必要性は低い。そのため、同制度の検討は終了としたい。
39	市民活動団体などとの協働	スポーツ課	市民活動団体などとの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成26年度からスポーツに関する2事業を実施 ①市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	①市民団体(藤沢シニアネット)、平塚市まちづくり財団と協働して運用事業を継続して実施していく ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業については、大学交流事業として、小学校1校で月2回継続して実施していく。
40-1 40-2	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催。	年1回の研修大会、年4回の各種研修会を開催しました。	地域等で指導するニュースポーツ競技を中心に研修会で学び、指導力向上や競技理解を向上させることができた。	継続	各地域の市民に対してスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上で有効な事業のため、今後も引き続き継続していく。
41-1 41-2	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	全国・県・関東大会・西湘ブロック・3市研修会に参加しました。	実技指導を含めた各種研修会・研究会に委員が積極的参加し、委員の技能や知識の向上を図ることが出来た。 また、その成果を本市のスポーツ推進委員や各地区の皆様へ広げていった。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民に生涯スポーツ・レクリエーション活動に関する指導・助言を行う上で、非常に効果的な事業のため、今後も引き続き継続していく。
42	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内の創設済みクラブ(3クラブ) 平成29年度より1クラブが準備中クラブから創設済みクラブとなった。	神奈川県総合型地域スポーツクラブ代表者及び市町村スポーツ主管課担当者会議において、地域スポーツクラブの方と2回意見交換をおこなった。活動の実績等の把握し、情報提供を実施した。	継続	各種関係団体の身近な相談窓口として必要なため、継続して実施する。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
43-1 43-2	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学 スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ 交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	陸上競技教室：平塚市内中学生188名が参加 バスケットボール教室：平塚市内中学生55名が参加 バレーボール教室：平塚市内中学生81名が参加	全国でもトップクラスの成績を誇る東海大学陸上競技部・バスケットボール部・バレーボール部直接指導を受けることができ、また指導者の知識を得る場ともなっている。また、地域と大学の連携・発展へも寄与した。	継続	参加者アンケートにおいて「満足」「少々満足」の割合が多い。大学生の現役選手の直接指導は参加者にとっても良い機会であり、今後も継続する。
44-1 44-3	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	東海大学 スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ 交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	東海大学陸上競技部と協力し、少年少女マラソン大会を開催した。参加者151名	市民と大学との交流を十分に図ることができた。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
44-2	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	神奈川大学	平塚市民・大学スポーツ 交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	「サッカー教室」：小学生66名が参加	市民と大学との交流を十分に図ることができた。	継続	多数の参加者がいるため、大学の協力が得られる限り生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
45-1 45-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	東海大学 スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 みずほ小学校 年20回 参加者 363人	市民がスポーツを楽しむ機会を提供できた。	継続	大学交流事業としてバラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。
46-1 46-2	競技力強化事業	平塚市スポーツ協会 スポーツ課	競技力強化委託事業	国スポ選手の養成、本市スポーツ協会関係選手の強化育成を図るため、平塚市スポーツ協会に競技力強化事業として委託します。	平塚市スポーツ協会所属の加盟団体が、選手強化に繋がる指導者講習会、大会、教室事業等を開催し、国スポ選手養成やスポーツ協会関係選手の強化育成を実施している。国スポ出場選手第78回18人。支援金支給対象者(全国大会出場)4競技4件17人。	平塚市スポーツ協会加盟の選手が全国規模の大会で活躍するなど、トップアスリートを輩出する環境づくりに寄与した。	継続	全国大会等へ、多くの出場選手を輩出していることから、今後も継続する。
47-1 47-2	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会などへの選手派遣	平塚市スポーツ協会 スポーツ課	選手派遣事業	駅伝大会を通じて市町村相互の交流や、競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	成績は総合12位(市部門11位)	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村相互や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることが出来た。	継続	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村相互や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることが出来るため、継続して実施する。
48-1 48-2	スポーツ優秀選手表彰	平塚市スポーツ協会 スポーツ課	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の栄誉をたたえるため、スポーツ優秀選手として表彰します。 ※平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	令和6年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 11人 団体 3団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ活動の推進に効果的であるため、今後も継続する。
48-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ優秀選手表彰	スポーツの大会等に出場し、優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰する。	スポーツ優秀選手の表彰 個人：30人 団体：2団体	スポーツをする小・中・高校生にとって目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ活動の推進に効果的であるため、今後も継続する。
49	スポーツ功労者表彰	スポーツ課	スポーツ功労者表彰	地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、スポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及び社会体育団体を讃えるため、スポーツ功労者として表彰します。	令和6年度神奈川県及び平塚市スポーツ功労者 神奈川県スポーツ功労者 1名 平塚市スポーツ功労者 6名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、また、関係者の競技力の向上やきっかけづくりとなるため、今後も継続する。
50-1	支援金の交付	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を持続できるよう、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付する。 また、全国大会出場者に記念品を贈呈する。	全国大会等出場者への支援 計39件 内訳 ①国際大会：5件 ②全国大会：28件 ③関東大会：6件 全国大会出場者への記念品贈呈：10件	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を持続することに寄与している。	継続	スポーツ活動の推進に効果的であるため、今後も継続する。
50-2	支援金の交付	平塚市スポーツ協会	全国大会等出場選手等支援金交付事業	平塚市スポーツ協会加盟団体に所属する者が、全国大会等に出場する場合に支援金を交付します。	4競技4件17人	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を持続することに寄与している。	継続	スポーツ活動の推進に効果的であるため、今後も継続する。
51	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を持続できるよう、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助する。	会場使用料支援 6件 (卓球協会、女性卓球連盟、陸上競技協会、柔道協会、ママさんバレーボール協会、水泳協会)	スポーツ団体が継続してスポーツ大会を開催することに寄与している。	継続	スポーツ大会を継続するために効果的であるため、今後も継続する。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
52-1	平塚市スポーツ協会の法人化に向けた支援	平塚市スポーツ協会スポーツ課	平塚市スポーツ協会の法人化に向けた支援	平塚市スポーツ協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	法人化に向け、団体との協議は行っていない。	法人化に向けた市への支援要請はなく、団体の現行の運営体制、過去の検討状況等を考慮すると現状において法人化に向けた具体的な検討を行う段階ではないと判断する。	継続	法人化に係る検討については、団体からの要請を踏まえて対応する。近隣市町の情報収集や法人化の手法等の研究は、引き続き進めることとする。
53-1	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	湘南ベルマーレスポーツ課	小学校体育巡回、幼稚園、保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えとともに、協調性などの人間力向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	延べ小学校28校 計1,904名 延べ幼稚園・保育園42園 計1,638名	湘南ベルマーレのコーチによる、サッカーやボールを用いた運動の指導を受けることにより、スポーツへの興味・関心を持ち、団体活動・集団活動を通じて礼儀や協調性などの人間性向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
54-1	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	湘南ベルマーレスポーツ課	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付を通じて、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	小学生 延べ1,530名	Jリーガーの輩出実績とともに、選手同士の交流や指導を受けた選手が各チームの模範選手となるなど、市内育成年代のサッカー競技力向上や人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
55-1	サッカースクール	湘南ベルマーレ総合公園課	①未就園児親子運動教室 ②親子サッカー教室 ③レディースサッカー教室	未就園児や幼稚園児とその保護者及び女性が身体を動かすことの楽しさ、大切さを実感する。また、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	①前期後期各8回全16回延べ253組506人 ②年少・年中コース前期・後期各8回延べ228組456人 年長コース前期・後期各8回全16回延べ192組384人 ③前期・後期各8回全16回213人	湘南ベルマーレスポーツクラブのコーチが講師となりサッカー教室等サッカーを中心としたスポーツ振興事業を実施した。	継続	子どもから大人まで男女を問わず多くの参加者があり、地域スポーツの普及となる事業が具体的に計画され実施されているため。
56-1	小学生無料招待事業(ドリームパスポート)	湘南ベルマーレ総合公園課	ドリームパスポート事業	プロという質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しむまちを推進するため、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の試合に、市内在住小学生を無料招待します。	横浜DeNAベイスターズ12試合441名 湘南ベルマーレ20試合3237名 横浜ビー・コルセアーズ3試合275名	市内小学生が市内でプロ選手のプレーを体感できる。スピードや迫力ある選手を観戦することでスポーツの醍醐味を感じることが出来る。	継続	市内小学生がプロスポーツを身近に感じれる環境を作る事によって、スポーツの普及・強化につなげる。各クラブとの連携が必要であり、継続に当たり変化が伴うので連携をとりながら展開していきたい。
57	平塚市スポーツ指導者制度の運営	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運用事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を運用します。	令和5年度スポーツ指導者の登録はなかった。	平塚市スポーツ指導者は延べ6名人登録	継続	指導者としての登録者数の増加や、指導を希望する者が効果的に利用できるよう制度の充実を努める。なお、各公民館で行っている「人材登録制度(知恵袋バンク)」や県の生涯学習情報システム(プラネットかながわ)の活用方法なども調整を図る。
58-1	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会	平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	パラスポーツやニュースポーツの研修会の実施や研修大会に参加した。	当該研修を通じて参加者の資質が向上し、ニュースポーツの体験会や各種大会を通じて市民にその普及及び振興に寄与した。	継続	今後も研修会の実施や研修大会に参加し、資質の向上を図る。
58-2 58-3	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツクラブ連合スポーツ課	平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	スポーツ活動時のこどもの熱中症予防と対応 講師:平塚市役所健康課 保健師2名 参加人数:124人	専門知識を学ぶよい機会となり、ジュニア世代の指導者の育成・技術向上に寄与した。	継続	受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながらニーズに合ったトピックで継続する。
59	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市スポーツ協会	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	1回目「地域におけるスポーツ振興」30人 2回目「スポーツ活動における安全管理」21人 3回目「普通救命講習」14人	平塚市スポーツ協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続	指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。
60-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を誘致します。	ビーチサッカー関東リーグ(男子・女子)やビーチバレージャパントアが開催されました。	プロ選手も参加する大会を開催することができ、ビーチパークの利用価値が高まりました。	継続	相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、指定管理者と連携し、引き続きハイレベルなビーチスポーツに接する機会の創出に努めます。
60-2	トップスポーツの試合の招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しめる街を推進するため、総合公園において、プロスポーツのほかさまざまな種目のトップレベルの大会を開催します。	秩父宮賜杯第64回実業団・学生対抗陸上競技大会 日本学生陸上競技個人選手権 Tリーグ木下ホームゲーム Wリーグ富士通レッドウェーブホームゲーム 等	市内施設でトップレベルの選手を見ることができスポーツの普及や強化につながる。	継続	全国トップの大会開催を実施することで平塚市へ多くの方を招くことが出来る。市民にレベルの高い競技を観戦することが出来る。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
61	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観覧できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	計2団体をの支援を実施 公益財団法人日本学生陸上競技連合、実業団・学生対抗陸上競技大会	本市において、トップレベルの大会が開催されたことにより、それを観戦した人のスポーツへの興味・関心や育成年代への喚起にも寄与した。	継続	市民へのスポーツを観る機会の創出のため、今後も継続して支援していく。また、大会の規模や市民からのニーズにより、支援団体の精査や見直しを併せて実施する。 なお、補助金額については本市財政状況による。
62-1 62-2 62-3 62-4 62-5 62-6 62-7	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市スポーツ協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(再掲)	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	参加7団体において国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートを招いて教室事業を実施した。	トップアスリートとの交流を図ることによりスポーツへの興味関心を高めることができた。また、スポーツへの参加意欲の喚起に寄与した。	継続	市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、スポーツへの興味関心を高めることができるため、今後も継続する。
63-1 63-2 63-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	横浜DeNAベイスターズ 横浜ビー・コルセアーズ 総合公園課	市内小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをすることの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が市内小学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力を伝えます。	横浜DeNAベイスターズ 2校140名 湘南ベルマーレ 7校819名 横浜ビー・コルセアーズ 17校1103名	日常で触れることの無いアスリートに触れることが出来る。	継続	プロ選手と児童が身近に接することが出来る環境は貴重。協力いただくクラブとの調整が必要。
64	トップアスリートを活用した事業の開催	福祉総務課	ブラサカと考える共生社会 in Hiratsuka	共生社会実現に向けたイベントの中で、ブラインドサッカーチームによるデモンストレーション試合等を実施し、パラアスリートとの交流の機会を創出する。また、パラスポーツ(パラリンピック採用競技)への理解を深め、パラリンピック大会の機運醸成を図るとともに共生社会の促進につなげる。	実施していない。		終了	当該事業は「基本目標3 トップスポーツの推進」の事業に位置づけられているが、トップスポーツを推進する目的で事業を実施していないため。また、事業の実施に当たり、必ずしもトップアスリートを活用するとは言えないため。
65-1 65-2	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業(再掲)	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	陸上競技教室:平塚市内中学生188名が参加 バスケットボール教室:平塚市内中学生55名が参加 バレーボール教室:平塚市内中学生81名が参加 「サッカー教室」:小学生66名が参加	全国でもトップクラスの成績を誇る東海大学陸上競技部・バスケットボール部・バレーボール部及び神奈川大学女子サッカー部の直接指導を受けることができ、また指導者の知識を得る場ともなっている。また、地域と大学の連携・発展へも寄与し	継続	参加者アンケートにおいて「満足」「少々満足」の割合が多い。大学生の現役選手の直接指導は参加者にとっても良い機会であり、今後も継続する。
66	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の管理・運営	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	令和6年度体育施設利用状況 計 241,050人 (横浜町庭球場・軟式庭球場、王御住運動広場、小・中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場・土沢野球場、パークゴルフ場)	スポーツ課所管の体育施設の維持・管理・運営を行い、市民がスポーツを楽しむ場所を提供した。	継続	市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、体育施設を効率的に維持・管理・運営を継続していく。
67-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しんでもらう場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートの利用貸出を行います。 ※利用形態:2時間1単位【市内】900円、【市外】1,800円	屋外専用フットサル場として、市内で市で行っている唯一の施設で、安価でフットサル愛好家に提供しています。	フットサル愛好家にフットサルをする場の提供ができました。特に土日の利用者が多く、毎週利用者がいます。	継続	フットサル愛好家を中心に利用者にとって親しみが持てる、また、安全で快適な利用ができる施設として運営・管理を継続しています。
67-2	有料公園施設の運営・管理	総合公園課	効率的な施設の管理・運営	市民がスポーツを「する」「観る」場の提供のため、スポーツ施設を効率的に管理・運営します。	国内トップ選手による試合・競技会を開催するため施設整備と運営を行っている。	総合公園施設で開催することにより、施設の価値を高め地域からスポーツ文化の発信が出来る。	継続	施設の老朽化が進むことにより大会開催が難しくなってくるため、更新など進めて行く。
68-1	指定管理者制度の活用	みどり公園・水辺課	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウを持つ指定管理者を導入します。	指定管理者独自のノウハウで秋と冬にビーチフェスタを実施し、その中でフライング、ビーチスポーツ体験会を行ったほか、オーシャンスイム練習会、ライフセービング講習会なども行いました。	各種ビーチスポーツ体験会や海岸で行う練習会、講習会等の事業を積極的に実施でき、多くの来場者に公表を得ることでビーチパークの賑わいの創出につながっています。	継続	引き続き、ビーチパークの賑わいの創出につながる指定管理事業及び自主事業を指定管理者から積極的に提案し実施してもらうことで、民間事業者のノウハウを活かした施設の運営・管理を行っていきます。
68-2	指定管理者制度の活用	総合公園課	馬入ふれあい公園指定管理	コストを削減し、効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について指定管理者制度を導入します。	コストを削減し、効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園について指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者が、施設の運営管理をおこなった。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
68-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者制度を活用します。	横浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場及び湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場の管理・運営に努めた。	体育施設の維持、管理、運営を行い、スポーツを楽しむ環境づくりに寄与した。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。

令和6年度 第2期平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
69	公民館附属体育館の運営・管理	中央公民館	公民館附属体育館の運営・管理	市民にスポーツの場を提供するため、市内5館の附属体育館の管理・運営を行います。	合計 6,196回 延べ101,405人 (内訳) 花水公民館 1,549回 延べ24,375人 神田公民館 1,217回 延べ17,765人 金目公民館 982回 延べ12,237人 金田公民館 1,212回 延べ24,063人 旭南公民館 1,236回 延べ22,965人	前年度と同程度の規模で実施した。	事業縮小	花水公民館附属体育館については令和7年度は改修のため休館し、令和8年度からは福祉総務課へ移管予定。
70	その他の施設の情報把握	スポーツ課	その他の施設の情報把握	民間スポーツ施設等の情報把握を行います。	市民から市内の民間スポーツ施設について問い合わせ時に、ウェブを活用して当該施設の情報把握し、情報提供に努めました。	市民に民間スポーツ施設について情報提供をすることができた。	継続	今後も民間スポーツ施設について問い合わせがあった場合には、ウェブを活用して回答をしていく。
71	学校体育施設開放の個人利用の促進	スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 みずほ小学校 年20回 参加者 363人	市民がスポーツを楽しむ機会を提供できた。	継続	大学交流事業としてバラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。
72	スポーツ用具有効活用事業	スポーツ課	各種団体にスポーツ用具の貸出を行う。	ニュースポーツを中心としたスポーツ用具を市民に貸し出すことで、スポーツを気軽に楽しんでもらい、継続してスポーツに取り組んでもらうことができる。	180件の貸出を実施した。	ポッチャ、バウンドテニス、ストラックアウトなど、約40種類のバラスポーツやニュースポーツを中心とする用具の貸出を行い、市民のスポーツ活動を側面から支えている。	継続	持ち運びの際リスクのあるスポーツ用具もあるため、貸出用具を精査して事業を継続していく。
73	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	訪問者(アクセス)数123,343人、ページビュー数が333,867ページと前年度と比較して、増加した。 訪問者数(前年比118%)、年間ページビュー数(前年比105%)	スポーツイベントもコロナ前に戻り、訪問者数・ユーザー数、ページ数も微増となった。	継続	登録団体が前年ー13で143団体となつてしまったので登録団体記事投稿の増加対策が必要となる
74	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供を図るため、情報誌「スポーツタウンひらつか」や財団のホームページ等により、スポーツの情報を提供する。	スポーツタウンひらつかの発行:年2回発行 3,000部/回 財団ホームページによる教室案内等の情報発信 ひらつかスポーツナビで事業の情報発信	スポーツへの興味関心を高め、多くの方のスポーツ教室への参加に繋がりが、市民の健康の保持増進に寄与している。	継続	スポーツ情報の提供はスポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供に繋がるため、今後も継続する。
75	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	市長表敬訪問のほか、スポーツイベント等の記事掲載等がされた。	スポーツへの興味、関心を高めることに寄与した。	継続	市記者発表及び市ウェブを通じて情報発信することを継続する。
76	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会	平塚市スポーツ指導者講習会(再掲)	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	バラスポーツやニュースポーツの研修会の実施や研修大会に参加した。	当該研修を通じて参加者の資質が向上し、ニュースポーツの体験会や各種大会を通じて市民にその普及及び振興に寄与した。	継続	今後も研修会の実施や研修大会に参加し、資質の向上を図る。
77 78	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツクラブ連合会	平塚市スポーツ指導者講習会(再掲)	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	スポーツ活動時のこどもの熱中症予防と対応 講師:平塚市役所健康課 保健師2名 参加人数:124人	専門知識を学ぶよい機会となり、ジュニア世代の指導者の育成・技術向上に寄与した。	継続	受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながらニーズに合ったトピックで継続する。
79	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市スポーツ協会	平塚市スポーツ協会指導者講習会(再掲)	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	第1回「地域におけるスポーツ振興」～スポーツの今後と現状～ 参加者30名 第2回「スポーツ活動における安全管理」～スポーツで怪我をさせない安全管理及びトレーニング論～参加者21名	平塚市スポーツ協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続	指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。